

**主な出来事**

**【内政】**

●8月9日から13日にかけて、ロウレンソ大統領は、南部ウイラ州及びクネネ州を訪問。10日には、ウイラ州政府関係者との会合に出席、11日には、クネネ州を訪問し、アンゴラ南部干ばつ対策緊急プログラム(PCESSA)の終了と今後の干ばつ対策へのコミットにつき約束。

●8月16日、UNITAがロウレンソ大統領の弾劾プロセス請求書への署名を実施し、憲法で請求に必要と規定される全議員の3分の1以上の86名が署名。一方で、議会での弾劾決議の可決には3分の2以上の賛成が必要となり、仮に可決された場合には、最高裁判所及び憲法裁判所で審議が行われることとなる。

●8月30日に開催された閣僚理事会第7回通常会合にて、観光査証審査プロセスの迅速化につき承認された。対象となるのは、日本を含むG20加盟国とEU加盟国。

**【外交】**

●8月8日から9日の日程で、西村経済産業大臣はアンゴラを訪問し、ロウレンソ大統領を表敬した他、カエタノ・ジョアン経済企画大臣とのバイ会談、日・アンゴラ・ラウンドテーブルへの出席、投資協定への署名に立ち会った。

●8月13日、アンゴラ・中国経済商業協力運営委員会第2回会合が開催され、中国からは、王文濤商務部長がヘッドを務めた。

●8月17日、ルアンダにて開催された第43回SADC首脳会合において、アンゴラが議長国となり、ロウレンソ大統領がSADC議長に就任した。

●8月20日、ミゲル・ディアスカネル・ベルムデス/キューバ大統領、8月24日、ルーラ伯大統領がアンゴラを公式訪問。

**【経済】**

●8月4日、鈴木駐アンゴラ大使は、令和2年度無償資金協力「経済社会開発計画」を通じて供与した救急車20台の供与式に出席。

●8月9日、ロウレンソ大統領及び西村経済産業大臣臨席の下、鈴木駐アンゴラ大使及びテテ・アントニオ外務大臣の間で、日・アンゴラ投資協定への署名が行われた。

\* 本月報は当地主要紙 *Jornal de Angola* 紙を中心に、月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです。

## **内政**

### **1. ロウレンソ大統領の南部2州訪問**

8月9日から13日にかけて、南部ウィラ州及びクネネ州を訪問。10日には、ウィラ州政府関係者との会合に出席し、教育、職業訓練、保健、エネルギー、交通輸送分野につき意見交換を行った。また、11日には、クネネ州を訪問し、アンゴラ南部干ばつ対策緊急プログラム(PCESSA)の終了と今後の干ばつ対策へのコミットにつき約束した。

### **2. 閣僚理事会は2023年国家予算の歳出上限措置を評価**

8月9日、ロウレンソ大統領が議長を務める経済諮問委員会の第6回通常会議が開催され、閣僚理事会は2023年度一般国家予算における歳出抑制策を評価した。大統領府公式フェイスブックによると、会議では、アンゴラ最大の政府系銀行である貯蓄・信用銀行(BPC)の不良債権を回収するために設立されたRECREDITの活動についても質問が出された。

### **3. 国会は大統領に国際商取引規制の法制化を許可**

8月11日、アンゴラ国会は、経済統合と国際貿易の増加という新たな局面に至っていることを考慮し、貨物運送事業の法的規制を適応させることを目的とした、国際商取引行為に関する法的規制を立法化する権限をロウレンソ大統領に与える法律案を提出。この決議案は、第5期第1回立法会第8回通常総会において、賛成183票、反対0票、棄権0票で承認された。右は、アンゴラが世界貿易機関(WTO)、世界税関機構(WCO)、南部アフリカ開発共同体(SADC)に加盟しており、とりわけ2018年に署名されたアフリカ大陸自由貿易地域(AfCFTA)創設協定を批准したことによるものである。

### **4. UNITAによるロウレンソ大統領の弾劾プロセス請求**

8月16日、最大野党UNITAが会合を開き、ロウレンソ大統領の弾劾プロセス請求書への署名を実施し、憲法で請求に必要と規定されている全議員の3分の1以上の86名が署名した。一方で、議会での弾劾決議の可決には3分の2以上の賛成が必要となり、仮に可決された場合には、最高裁判所及び憲法裁判所で刑事面、憲法面での審議が行われることとなる。

### **5. 観光査証審査プロセスの迅速化の承認**

8月30日に開催された閣僚理事会第7回通常会合にて、観光セクターの活性化及び歳入増加を目的とし、観光査証審査プロセスの迅速化につき承認された。対象となるのは、日本を含むG20加盟国とEU加盟国となる。

## **外交**

### **1. 西村経済産業大臣のアンゴラ訪問**

8月8日から9日の日程で、西村経済産業大臣がアンゴラを訪問。ロウレンソ大統領表敬、カエタノ・ジョアン経済企画大臣とのバイ会談、CFAO Motors S.A 視察、日・アンゴラビジネスフォーラム出席、共同声明署名、日系企業との昼食会に出席した。

### **2. アンゴラ・中国経済商業協力運営委員会第2回会合の開催**

8月13日、アンゴラ・中国経済商業協力運営委員会第2回会合がルアンダで開催された。アンゴラ側からはジョゼ・デ・リマ・マサーノ大統領府経済調整担当大臣、中国からは王文濤商務部長が出席し、同会合の記事録署名が行われた。両国は引き続き経済関係の深化を図っていくことを確認したほか、特に食糧安全保障の重要性につき話が及んだ模様。

### 3. アンゴラの SADC 議長国就任

8月17日、ルアンダにて開催された第43回 SADC 首脳会合において、ロウレンソ大統領が SADC 議長に就任。チセゲティ・コンゴ(民)大統領から議長を引継ぎ、エリアス・マゴシ事務局長は、「国際協力パートナーおよび民間部門に対し、SADC 事務局および加盟国と手を携えて様々なプロジェクトを実施し、SADC 市民の生活に変化をもたらすよう呼びかける」と述べた。

### 4. ミゲル・ディアスカネル・ベルムデス/キューバ大統領のアンゴラ訪問

8月20日から22日の日程でアンゴラを訪問したミゲル・ディアスカネル・ベルムデス/キューバ大統領は、ロウレンソ大統領との首脳会談に続き、3件の法的文書(観光、保健、投資分野)署名式に立ち会った。その他、アンゴラ独立戦争時に戦士したアルゲレス・ガルシア司令官の墓地で献花を行った他、当地若者リーダーとの面談にて、今年11月にハバナで開催予定の第1回世界若者リーダー企業家フォーラムへ招待することを発表した。

### 5. アーメド・カタン、サウジアラビア王室顧問のロウレンソ大統領表敬

8月23日、アーメド・カタン、サウジアラビア王室顧問はロウレンソ大統領を表敬し、カトゥンベラ産業団地建設のため、1億1,000万米ドルの借款を行うことを伝達。サルマン・ビン・アブドルアジーズ・アール・サウード国王の決定として、在アンゴラ・サウジアラビア王国大使館開設を進めていることも伝えた。なお、アンゴラはサウジアラビアに既に大使館を開設している。

### 6. ルーラ伯大統領のアンゴラ訪問

8月24日から27日の日程で、ルーラ伯大統領はアンゴラを訪問した。首脳会合、7つの法的文書(外交・領事・防衛・官房職員の扶養家族による就労協定、持続可能な観光分野での協力に関する覚書、ハンセン病患者の診察及び治療に関する

協力プロジェクト、農業及び畜産に関する二国間協力に関する覚書、みんなの学校協力プロジェクト、中小・零細企業支援に関する覚書、民間投資・輸出促進にかかる覚書)への署名を実施した他、今般訪問では、伯企業170社を同行させ、第1回アンゴラ・ブラジルビジネスフォーラムが開催された。ルーラ大統領は国会にて演説も行い、二国間議会交流の強化についても約束した。

### 7. CPLP 首脳会合へのロウレンソ大統領出席

8月27日、ロウレンソ大統領はサントメ・プリンシペにて開催されたCPLP首脳会合に出席。同大統領は冒頭演説において、アンゴラが議長国を努めた2年間の成果を強調しつつ、加盟国間の移動を容易にするための査証発給要件緩和の必要性や、地域の安全保障に向けた協力等につき言及。また、本会合にてCPLP議長国がアンゴラからサントメ・プリンシペに引き継がれた

### 8. ガボン情勢に関するロウレンソ大統領とコンゴ共和国大統領との協議

8月31日、ロウレンソ大統領はコンゴ共和国を訪問し、ンゲソ大統領とガボン情勢につき協議を行った。会談後のプレスリリースにおいて、両首脳はガボンにおける武力による権力の掌握を強く非難し、ボンゴ同国大統領とその家族の安全の尊重と対話による解決を訴えた。

## 経済

### 1. 「経済社会開発計画」を通じた救急車 20 台の供与

8月4日、鈴木在アンゴラ大使は、令和2年度無償資金協力「経済社会開発計画」を通じて供与した救急車20台の供与式に出席。アンゴラ側からはシルヴィア・ルクトゥタ保健大臣が出席した。同無償資金協力は、医療システムの強化を念頭に置くもので、3億円の供与を通じて実施されたもの。

## 2. 二国間投資協定への署名

8月9日、ロウレンソ大統領及び西村経済産業大臣臨席の下、鈴木在アンゴラ大使及びテテ・アントニオ外務大臣の間で、日・アンゴラ投資協定の署名式が執り行われた。

## 3. 日・アンゴラ・ラウンドテーブルの開催

8月9日、ルアンダにて日・アンゴラ・ラウンドテーブルが開催され、同イベントに出席した西村経済産業大臣は、「日系企業 20 社が動向しており、化学肥料の生産、公衆衛生システム構築等、独自の技術を駆使した協力を希望している、アンゴラを含む多くのアフリカ諸国は様々課題に直面しており、日本はそこに大きなビジネスチャンスがあると考えている」と述べた。なお、同ラウンドテーブルには、アンゴラ側からは、カエタノ・ジョアン経済企画大臣ほか、レロ・フランシスコ AIPEX 長官、アンゴラ企業関係者が出席した。

## 4. 令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ウアンボ州ウアンボ市フェラス・ボンボコ中学校スクールバス整備計画」供与式

8月16日、当館高橋次席はウアンボ州ウアンボ市を訪問し、令和4年度対アンゴラ共和国草の根・人間の安全保障無償資金協力「ウアンボ州ウアンボ市フェラス・ボンボコ中学校スクールバス整備計画」の事業完了確認及び本件協力に係る供与式を実施。本事業は、日本政府が実施団体であるフェラス・ボンボコ公立中学校に対し 91,797 ドル(9,914,076 円)を供与し、30 人乗りのスクールバス一台を配備するもので、本プロジェクトによって、約 600 名の生徒の通学手段が確保されるに至った。

## 5. カナダ企業によるロビト回廊開発を通じた同精鉱の試験輸送

加バンクーバーに本社を置くアイバンホー・マインズ社とロビト回廊のコンセッション権を持つロビト・アトランティック鉄道社は MOU を締結。内容は、2023 年第 4 四半期を目標に最大 10,000 トンの銅精鉱を、コンゴ(民)カモア・カクラ銅山からロビト回廊経由する形でロビト港へ試験的に鉄道輸送し、コスト、時間、環境負荷等の情報を収集するもの。同銅山から南アフリカ/ダーバンまでの輸送は 50 日を要する一方で、ロビト港を活用することで 20 日に短縮が可能となる。

## 6. S&P 社による今年インフレ予測

8月22日、米大手格付け会社のスタンダード&プアーズ社は、今後の経済見通しを公表。同社によれば、今年のインフレ率は 13%程度で推移し、GPD 成長率については 0.9%を見込んでいる。また、格付けについてはB-とする一方で、対 GDP の対外債務比率は 93%まで増加すると指摘した。アンゴラ政府は、今年に関しては 70 億米ドル以上、2024 年から 2026 年にかけては 78 億米ドル以上の負債支払い義務を追っている。

(了)